日本城郭史資料　第七　武蔵国　二

別20
4
7

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

347.7

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

忍城

一、沿革の概要

a、創設　城の創設年代詳かならざるも文明年間成田親泰居城としてより築城せしものの如し

成田氏は其の祖先藤原道隆にして其の後裔助高に至りて武蔵国幡羅郡に住み任ず其の家国たるの如し

成田助高―助広―助綱―家泰―資綱―家時―資員―顕泰―親泰―長泰―氏長・泰親
泰季―長親

b、経歴　成田氏忍城主たりしは創設より天正十八年北條氏の小田原征伐に至る約百余年間にして成田親泰の頃には既に大里幡羅埼玉の三郡を領有し其の子長泰に至り食邑十五万石家士一千余を有するに至れり始め山内上杉に随従せしが後北條氏に降りしを以

（　　）

陸軍、城、史、

國立國會圖書館藏書
国立国会 33.3.18 図書館
U 60334
国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

忍城は上杉謙信より屢々攻撃を受けたが、即ち天文二十二年謙信出兵攻撃せしも成田氏和睦し、永禄四年再び攻囲し城主成田長泰降伏したが、永禄三年再び上杉に叛きしを以て謙信は之を攻撃せしめしも抗しことを能はずして再び成田氏は北條氏の幕下となり天正十八年に至りしが、秀吉の小田原攻城の際石田三成等は北條方の攻勢を受けしも小田原落城後まで抗抗せり。

北條氏滅亡し関東秀吉の手に帰し秀吉之を徳川家康に与へしを以て家康忍城に松平家忠を封じ一万石を給し文禄元年上総上代に移され松平忠吉十万石を以て封ぜられ慶長五年尾張清洲に移され再び二十

五年同城を去る寛永三年酒井忠勝五万石を領して
城主となりしが翌四年川越に移され後城主を置く寛永
十二年松平信綱三万石を以て城主となり同十六
年川越に移されたる後より阿部忠秋五万石を領せ
しより再來連續百八十五年城主たりしが文政六
年白河に移封せられ代りて桑名より松平忠堯（忠孝）
十万石を以て城主となり爾後子孫相継ぎて明治に至れ
り歴代城主を挙ぐれば次の如し。

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

陸軍

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

忍城城主一覧表

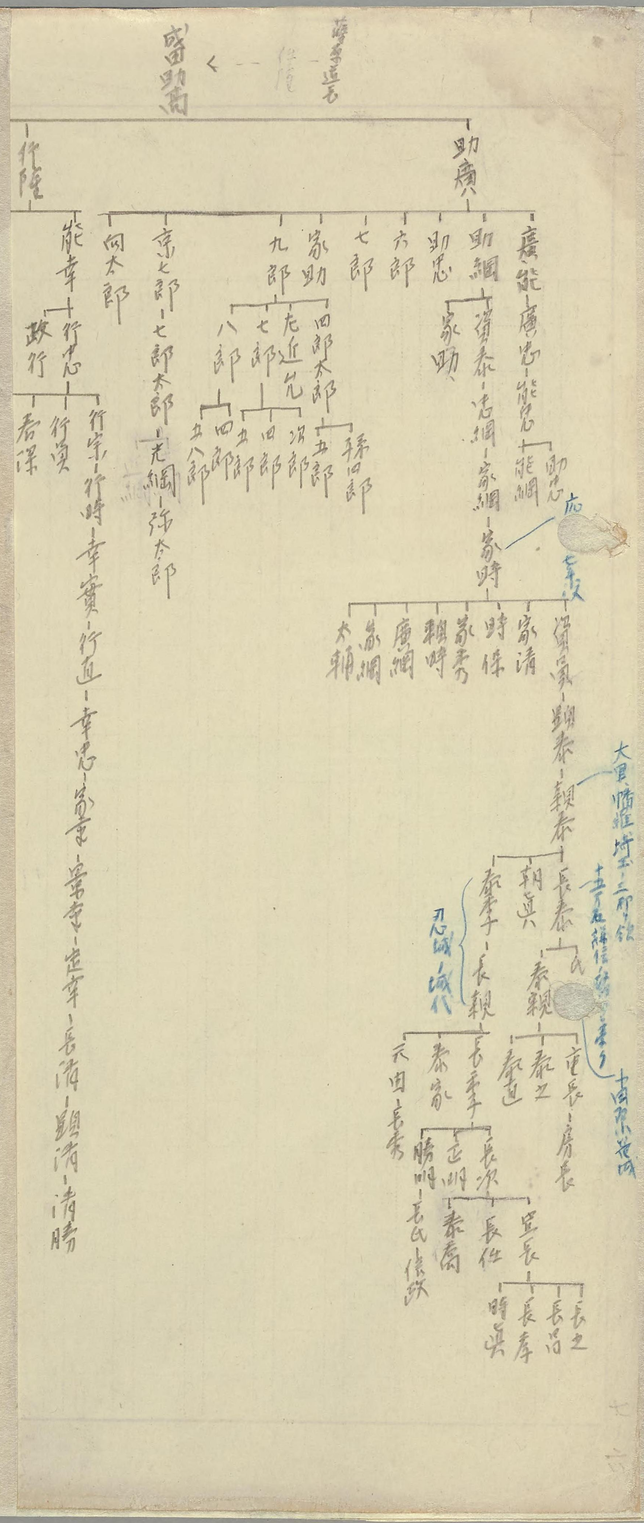
藩主	城主	石高	期間	年限	備考
成田氏	成田親泰	忍羅・埼玉 大里郡	文明年中	約110餘年	文明年間築城す
	同 長泰	十五万石			
	同 氏長	同	天正十八年		秀吉に降伏せられ烏山に封ぜらる
松平氏	松平家忠	一万石	天正十八年 文禄元年	3年	上總上代へ
松平氏	松平忠吉	十万石	文禄元年 慶長五年	9年	家康の第四子 清洲へ
徳川氏	城番		慶長五年 寛永三年	25年	
酒井氏	酒井忠勝	五万石	寛永三年 同四年	1年	深谷より 川越へ
徳川氏	城番		寛永四年 同十二年	8年	
松平氏	松平信綱	二万六千石	寛永十二年 同十六年	5年	川越へ
阿部氏（代々）	阿部忠秋	五万石	寛永十六年	185年	壬生より
	同 正能	六万石			
	同 正武	十万石			
	同 正喬	同			
	同 正允	同			
	同 正敏	同			
	同 正識	同			
	同 正由	同			
	同 正権	同	文政六年		白河へ
松平氏（代々）	松平忠堯	十万石	文政六年	47年	桑名より
	同 忠彦	〃			
	同 忠国	〃			
	同 忠誠	〃			
	同 忠敬	〃	明治二年		

陸軍

国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第7冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4



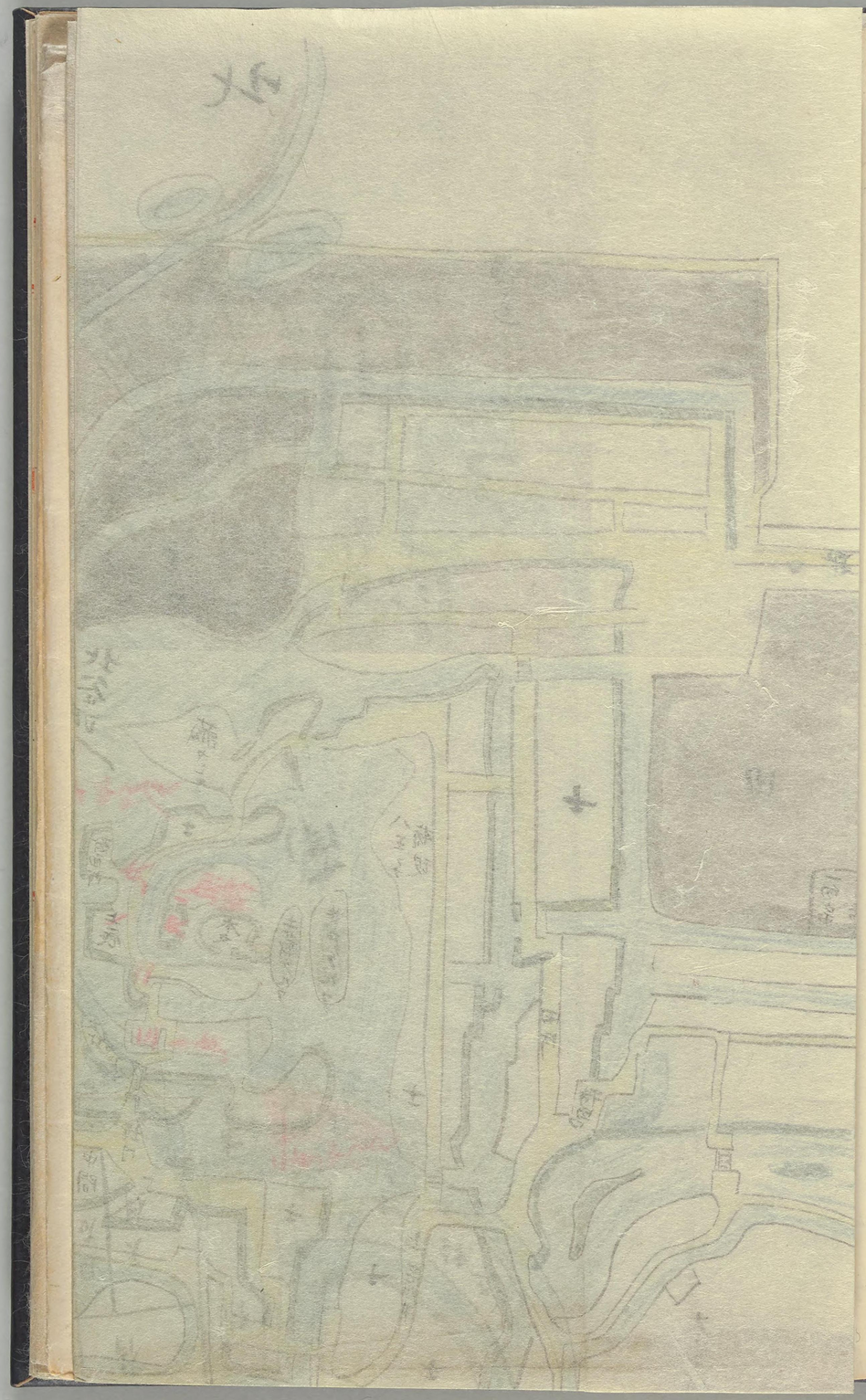
陸軍、城、史

城　史

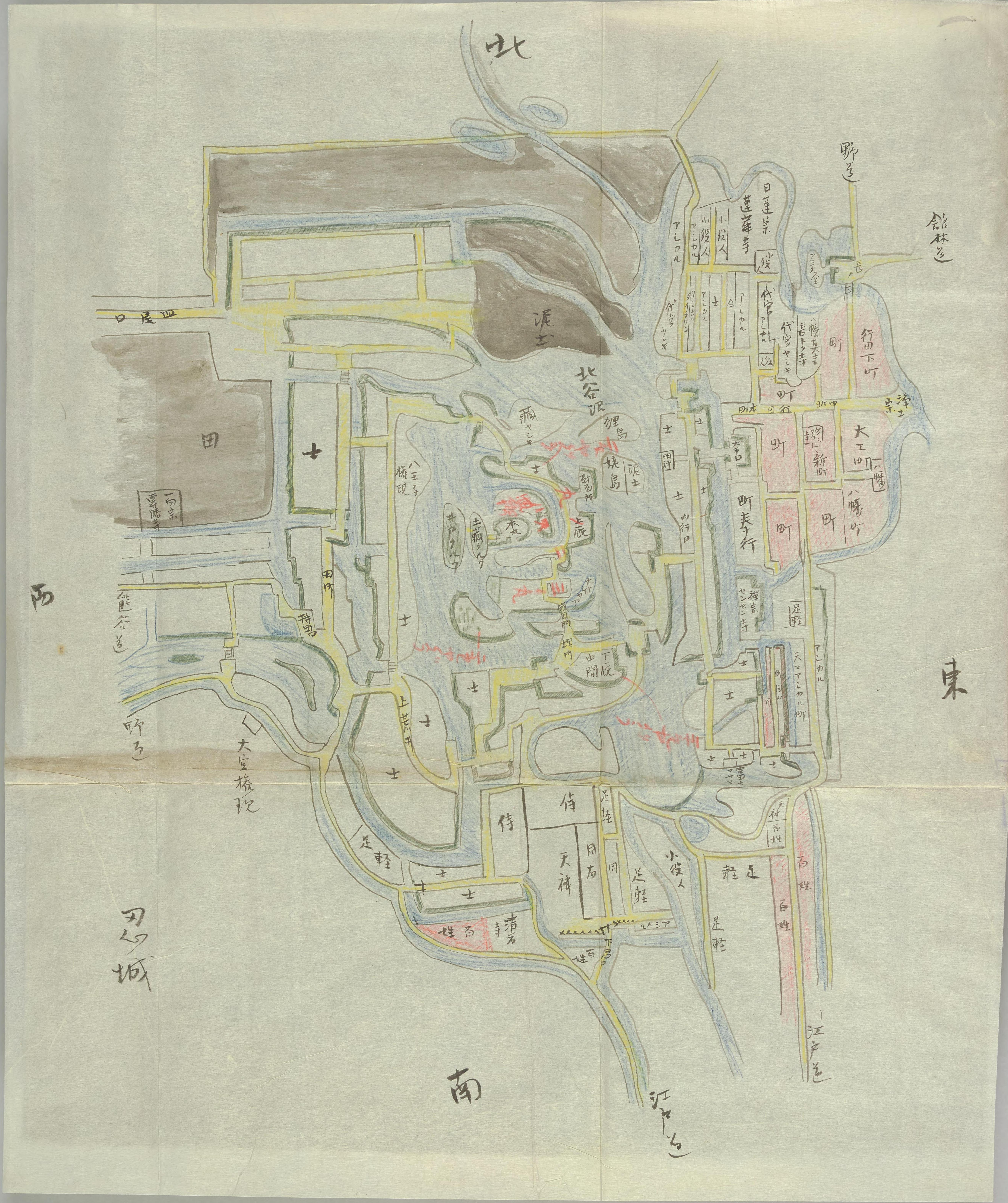
五ノ分一

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

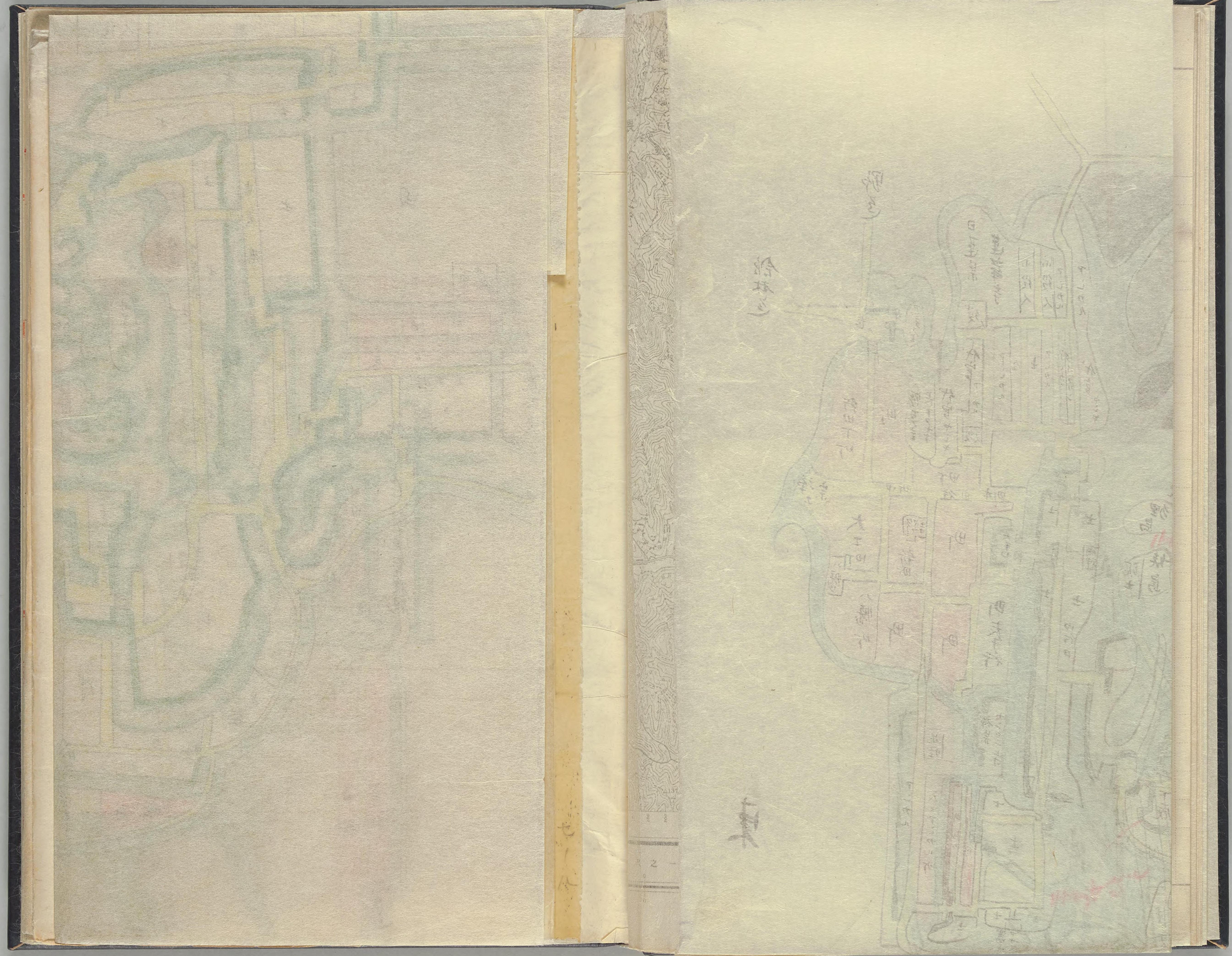
国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第7冊　本別20-4



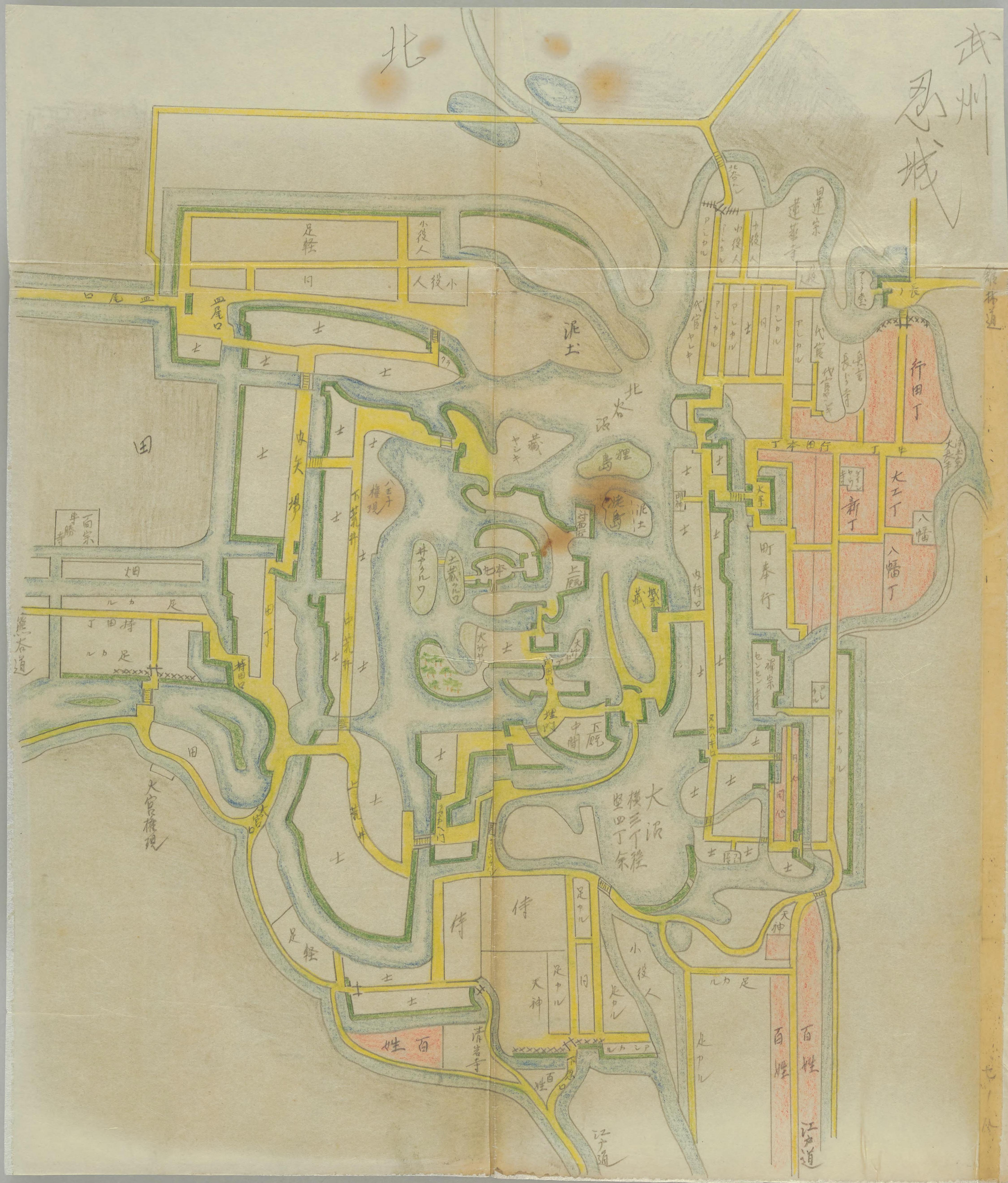
国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4



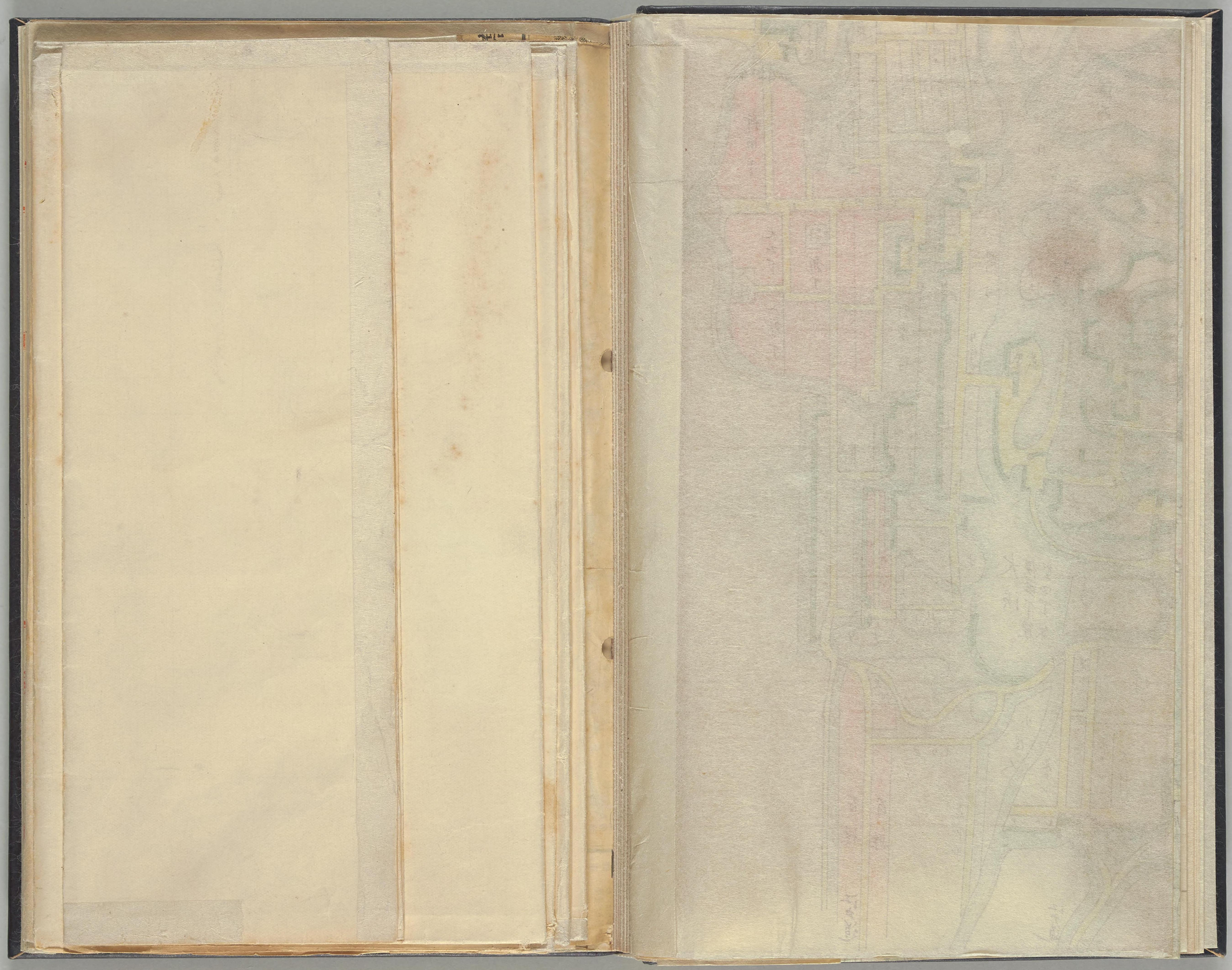
国立国会図書館 [日本城郭史資料] 第7冊 本別20-4



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

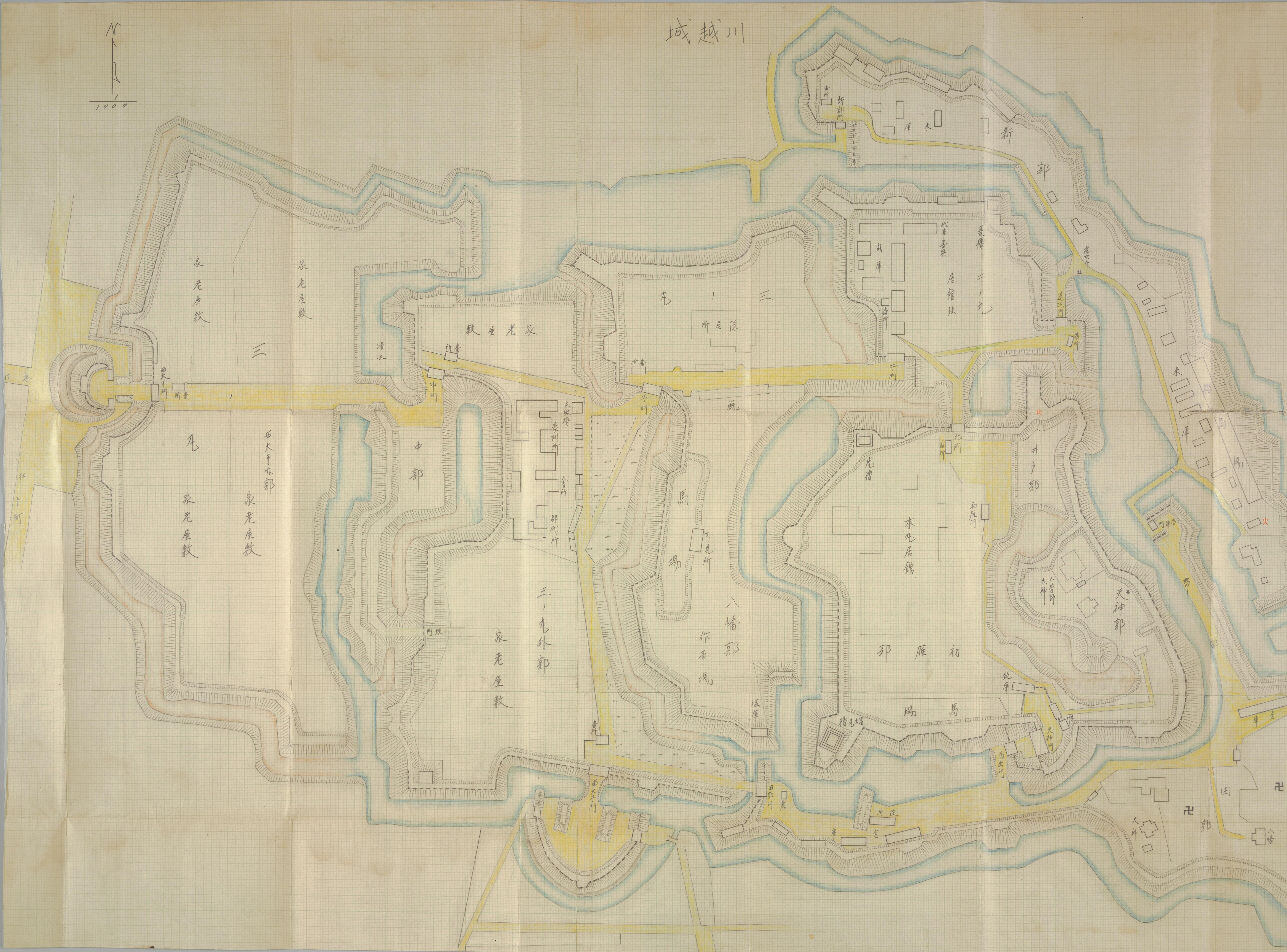


国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

域越川

新郭
米庫
番所
新郭門
武庫
作事奉行
居館北
菱櫓
二ノ丸
導水井
番所
遠池門
番所
米
櫻
馬場
庫
火
井戸郭
北門
番所
虎櫓
本丸居館
初雁門
三芳野天神
天神
天神郭
帯
郭
初雁郭
馬場
鉄砲櫓
鉄庫
天神門
馬出門
庫
倉
田
卍
郭
清水門
番所
八幡
天神
家老屋敷
三ノ丸
家老屋敷
滑水
番所
西大手門
番所
中門
三ノ丸
家老屋敷
三ノ丸
所居隠
厩
番所
三ノ丸
太鼓櫓
番所
郡代所
舎所
中郭
西大手御郭
家老屋敷
家老屋敷
馬見所
馬場
八幡郭
作事場
三ノ丸外郭
家老屋敷
門埋
番所
塩蔵
南大手門
田郭門
番所
所役
庫
舎
番所
馬場
鉄砲櫓
七ノ十四

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

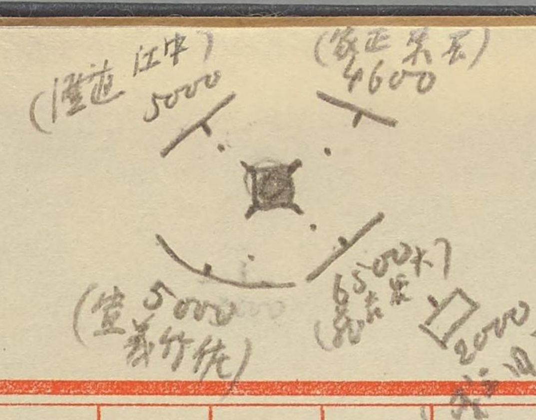


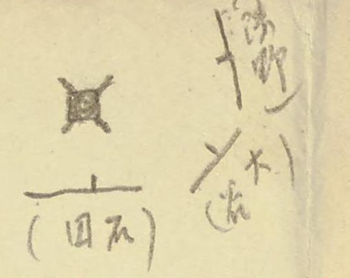
国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

天正十八年

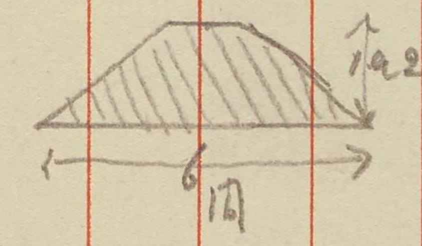
守者二六〇〇人
攻者二三〇〇〇人





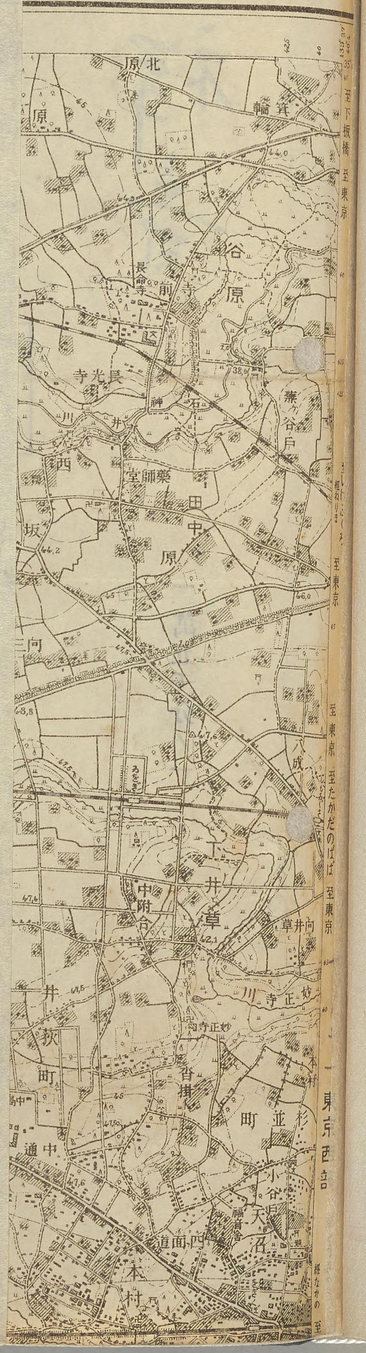
忍城ノ攻撃

月日	経過
六月 4	石田長束大谷ノ諸隊館林ヲ奪ヒ川股ノ渡ヲ経テ忍ニ向フ
5	早朝ヨリ東南北ノ三面ヨリ攻撃セシモ死傷多シ
6	南方ニハ竹筏ヲ泥中ニ浮ベ佐間口ヨリ[illegible]ヨリ攻メシモ利アラス
7	石田三成城ヲ水攻ニセントシ工夫ヲ募ル
8	
9	夜能居堤附近ヨリ起工シテ堤防ヲ造ル
10	工事
11	工事
12	工事
13	工事
14	正午完成シ江第堤附近ニテ利根川ヲ決セシモ水至ラス[illegible]ノ如クナラス 同夜荒木村ニテ荒川ヲ堰止メ左岸ノ堤ヲ決シテ注グ
15	
16	水堤中ニ充ルナシモ未ダ城兵ヲ困シムルニ足ラズ
17	
18	猛雨為ニ[illegible]堤根両村間ノ堤防決潰西軍ノ溺死スルモノ二七〇余人 堤内ノ松悉ク流サレ攻者再ビ陣地ヲ退メ攻囲セシモ道路泥濘甚シク為ニ対峙ス
19	ルニ過ギズ
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	浅野長吉、真田昌幸ノ二隊来援ス
七月 1	浅野隊皿尾口ヨリ攻メ守兵本城ニ退ク 此ノ夜城兵出撃セシモ撃退セラレ
2	
3	
4	三面総攻撃セントシ石田隊ハ下忍口浅野隊長野口大谷隊ハ佐間口ヨリ攻メントスルコトヲ約ス
5	石田隊期ニ先ダチテ攻メシモ志ヲ得ズ浅野長吉三成ノ約ニ背クヲ怒リ直ニ長野口ヨリ攻ム長束隊モ忍城兵皆結集シテ守兵潰走ス二隊佐間口ニ至ル守者能ク防ギ二隊[illegible]
6	上杉景勝ニ前田利家忍ニ赴クヲ命セラル
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	城主成田氏長秀吉ノ命ニ依リ使ヲ遣シ城代以下ヲ諭シ開城セシム



守城期間四二日

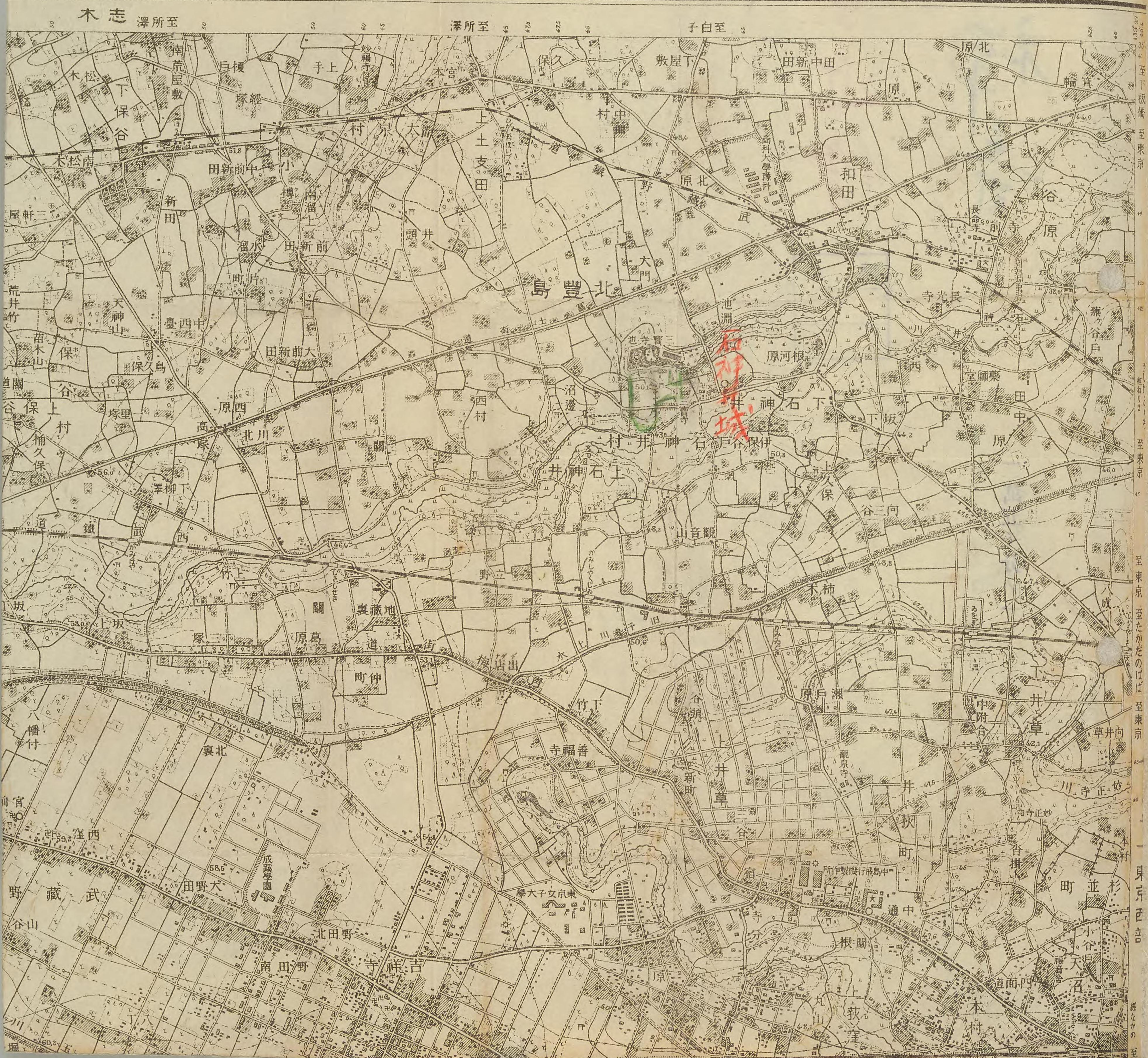
東京府　武藏國　北豐島郡　豐多摩郡　北多摩郡



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

吉祥寺

東京府 武藏國 北豊島郡 豊多摩郡 北多摩郡



国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第7冊　本別20-4

古祥寺

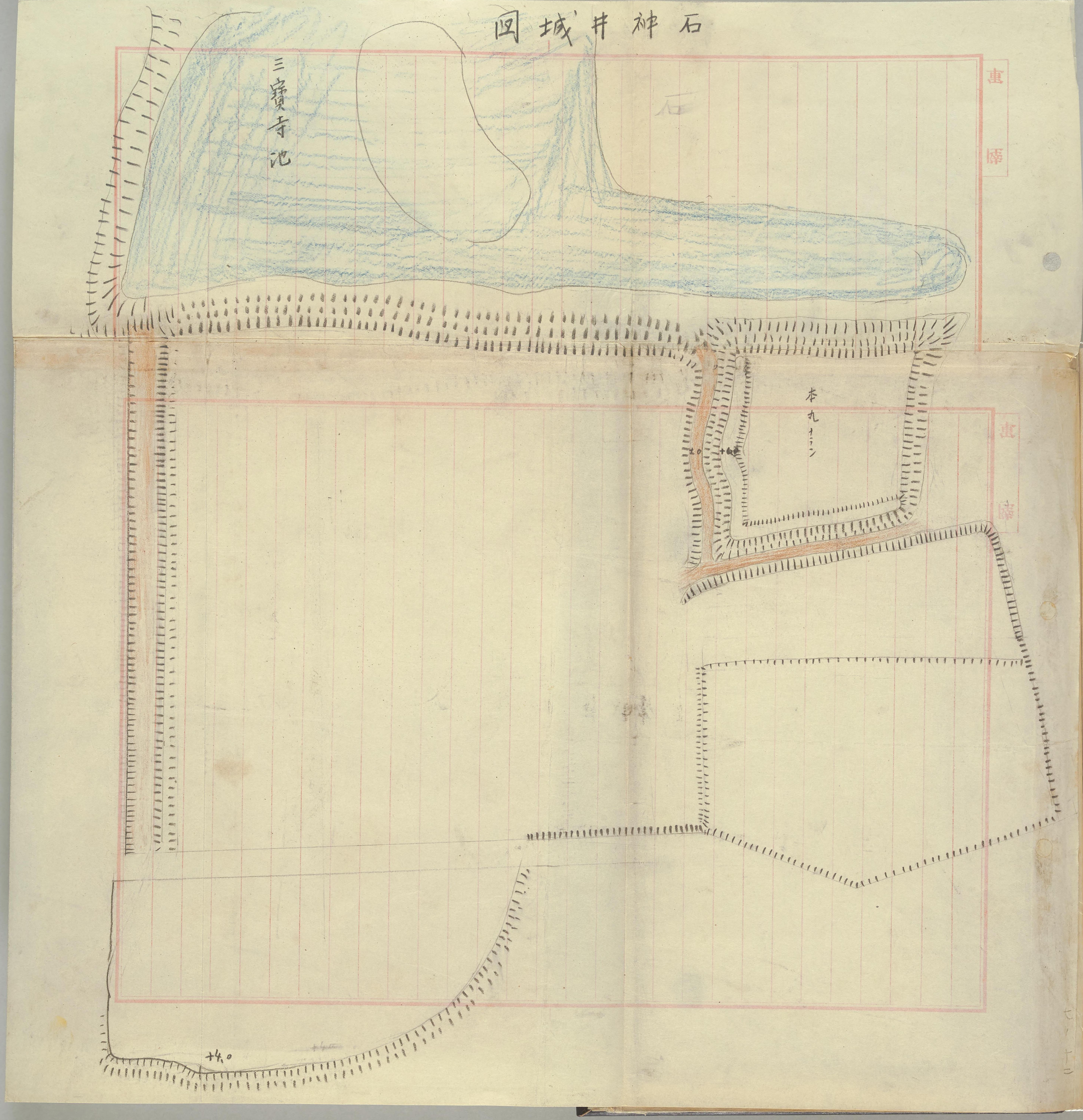
東京近傍

城史

一萬五千分ノ一

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

石神井城図



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

赤羽

東京府 武蔵國 南足立郡
埼玉縣 武蔵國 北豊島郡 北足立郡

二万五千分一地形圖東京近傍十號共十六面
東京六號東京西北部ノ一

野	興	和	浦	谷	越
木	志			加	草
寺	祥	吉	西	京	東	部	首	京	東

號符

海軍望樓		祠神	
所造製		宇佛	
行銀		堂教西	
庫藥火		署公國内	
房車水		署公國外	
所電發		幣所軍陸	
場工窯		幣所軍海	
臺		部令司團師	
機		部令司團旅	
閘土		署及基墓部令司團	
澤水		區院衛部令司	
地墓		府守鎮	
居鳥		廳縣府廳道	
燈燈		廳島圖支及所役都	
記碑		所役市	
像立		市場役村町内所役區ノ	
標立		校學	
段石		院病	
機重起		及院病避會救隔	
井油石		除兵憲	
柵立獨		署察警	
煙突		及院訴控所判裁	
		所務刑	
點角三	海面ヨリノ高サ	關稅	
點津水		局署監務稅稅務	
點高標立獨		署區林	
場戰古		署務獨	
泉湧		會專會會公會及會支所設製	
山陵		所候測	
城墟		電話電信電報局ノ業ヲ區	
火山		局便郵	
礦泉		局信電	
場藏貯料材		局話電	
礦鑛採			

道 國王 要ナル府縣道
町村道 上以外三幅道 上以外二幅道 上以外一幅道 未滿一幅道
徑小 車ヲ並ヘテ通ルヲ得ル
木並 通常 雨天
線電
道鐵 道鐵種特
境界 外國 府縣 郡市 區町村 官地 有地 私地
水深及岸高 橋木 橋徒 橋車輛 所渉徒 所人渡 所人馬渡 船汽
無線電信電柱 燈臺 浮標 警報標 固定標燈 燈臺 港商 所船停
乾田 水田 沼田 桑畑 茶畑 果園
草地 竹林 樹闊葉林 樹針葉林 濶葉 危地
山及變地形 土質 岩石 岩塊岩礫地 土質 岩石 地形ノ種類ニ依リ等高線ノ形狀ヲ異ニス

大正六年測圖昭和三年第二回修正測圖
昭和六年六月二十五日印刷同六月三十日發行
著作權所有印刷兼發行者
大日本帝國陸地測量部

錢叁拾金價定

尺之一分千五万二

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

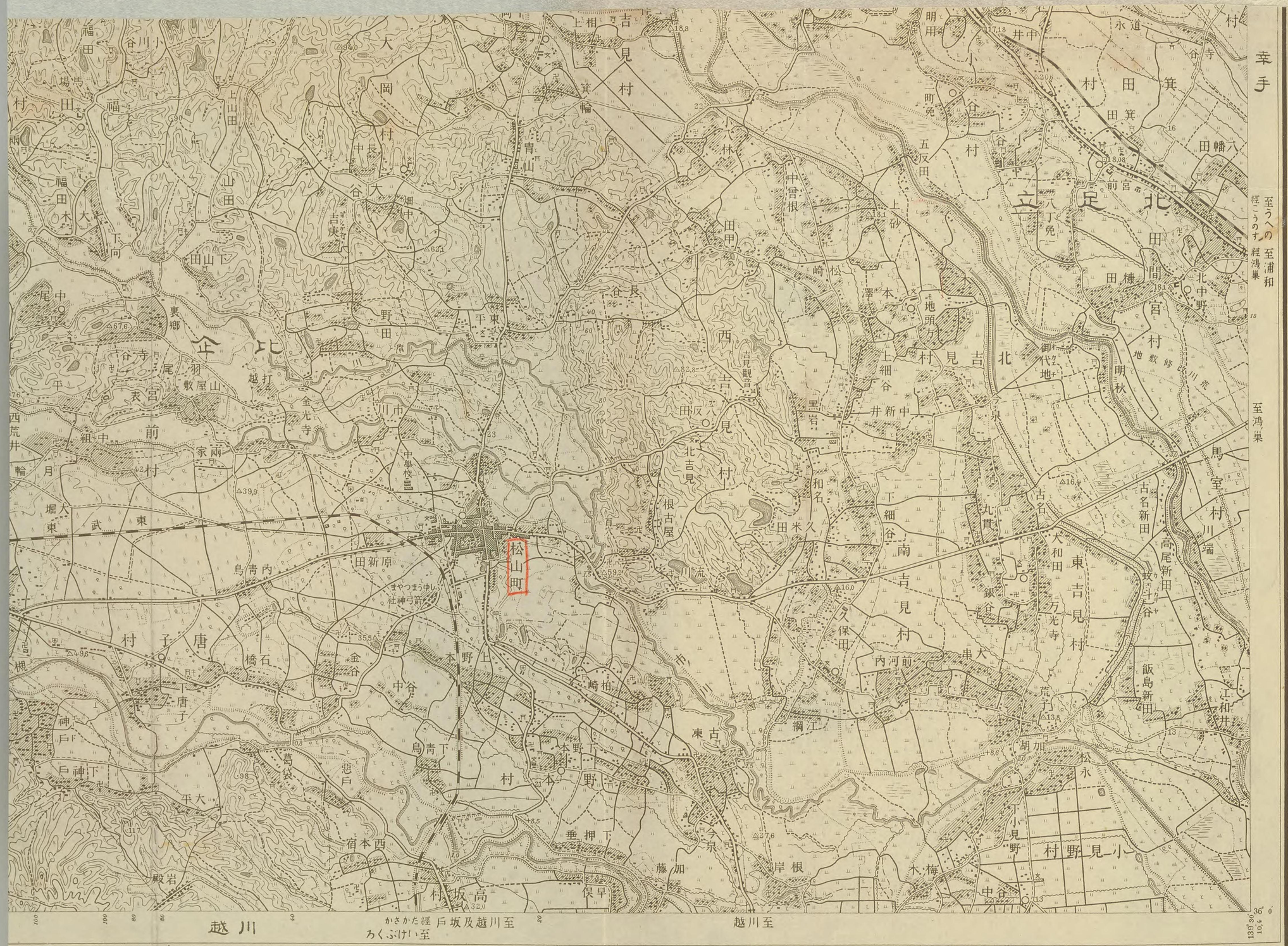
国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4



国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第7冊　本別20-4

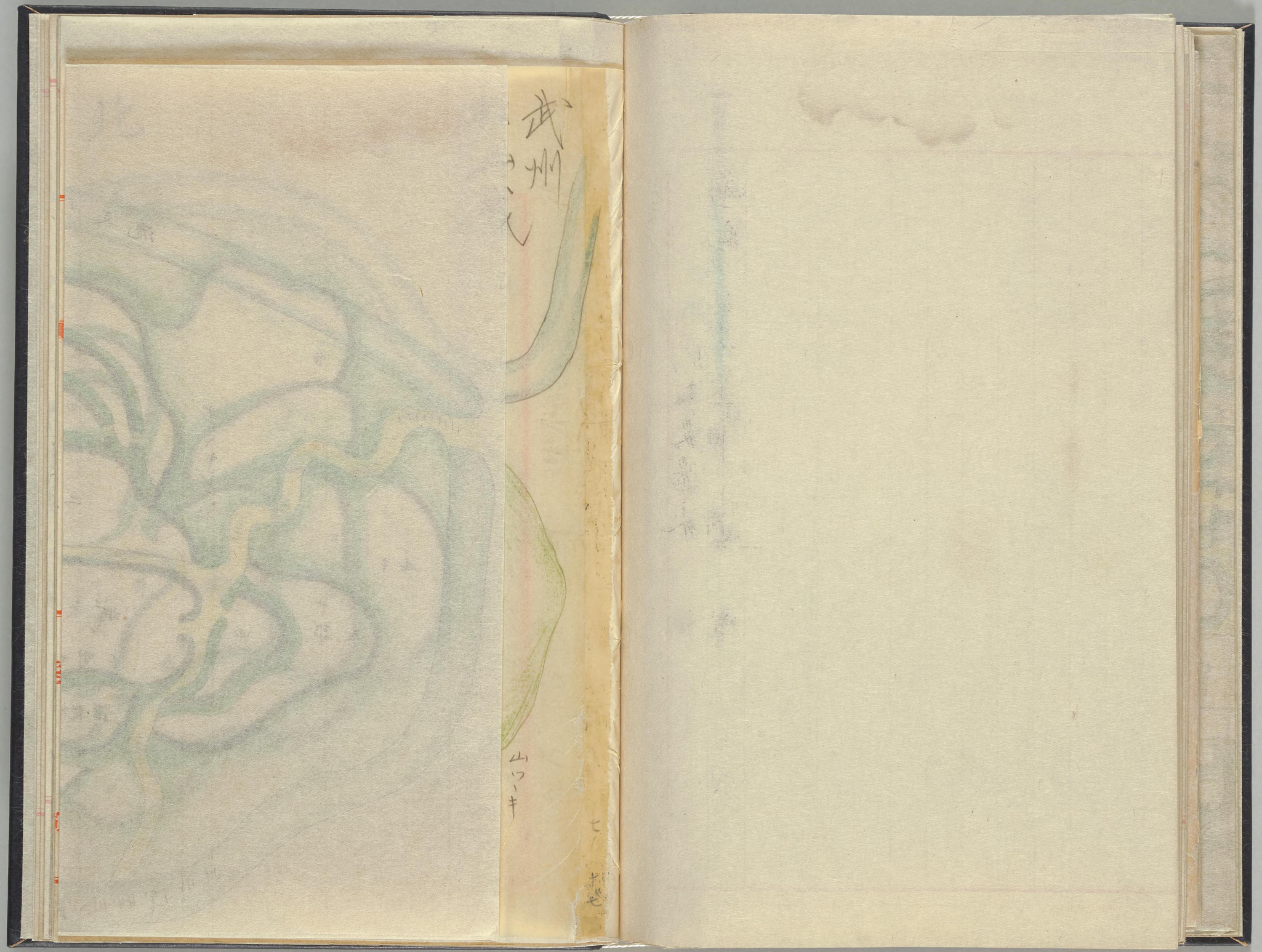
（注）憲勝ハ上杉憲房ノ末子

松山城主変遷表

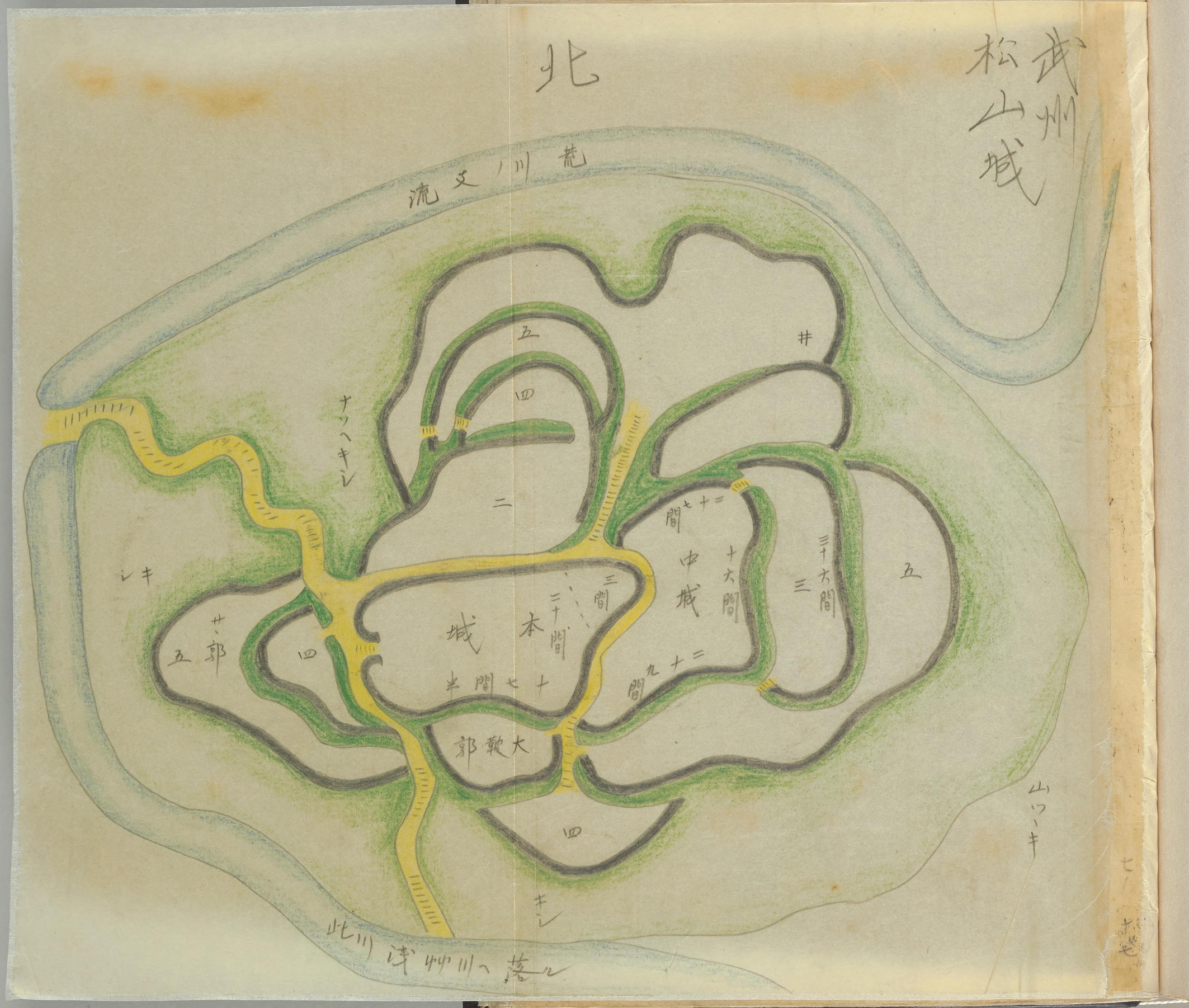
藩主	城主	石高	期間（自・至）	年限	摘要
上					創築年代不明
杉	上田上野介				應永廿三年十月、上杉氏憲等、足利持氏ヲ鎌倉ニ攻ム、コノ時ノ戦ニ、持氏方ノ将、松山城主上田上野介討死スト アリ。（鎌倉大草紙）
氏	難波田憲重		天文十五年		天文六年七月、北條氏綱川越城ヲ陥ル、時ニ城主朝定当城ニ遁レ入ル。氏綱又来リテ当城ヲ攻ム、憲重固守シテ之ヲ退ク。天文十五年四月川越夜襲ノ時討死ス。
北條氏康	芳賀伊賀守		天文十五年四月 天文十五年八月		川越夜襲ノ時、氏康勝ニ乗ジ、当城ヲモ陥ル、時ニ、岩槻城主太田資正等、後詰セントシ来リ救フモ叶ハズ、平井ニ退ク。氏康、芳賀氏ヲ当城ニ置ク。
太田資正	太田七郎		仝年 月 天文廿年	6年	太田資正、夜襲ヲ決行シ当城ヲ奪取ス、七郎ヲ置キテ守ラシム、三月、氏康、上州平井ニ上杉憲政ヲ攻メントシテ北上スルヤ、上杉ノ諸将皆
北條氏康	城代		仝年 月 永禄三年九月	10年	降ル、コノ時当城モ、亦北條ニ帰ス。上杉輝虎、越後ヨリ関東ニ出陣スルヤ、一時、北條氏ニ帰属セル諸将相次
上杉（太田資正）氏	上杉憲勝		仝年 月 永禄五年四月	2年	イデ降ル。コノ時太田資正、之ト相呼応シ、再ビ当城ヲ抜キ、上杉憲勝ヲ置ク。永禄四年十二月氏康之ヲ復セントシテ来リ囲ム、時ニ武田晴信モ来リ援ケ共ニ攻ム、憲勝固守セシモ、五年四月策ニ陥リ敗レテ城ヲ開ク（埼玉戦史）
北條氏	上田朝廣		仝年 月 天正十八年四月	29年	氏康、ソノ将上田朝廣ヲ置ク。小田原役ニ朝廣、小田原ニ籠城、ソノ家臣等当城ヲ守ルモ、利家、景勝等ノタメ落城。
徳川	松平家廣	一〇、〇〇〇	仝年七月	12年	家康ノ関東移封ト共ニ、一万石ヲ賜ハル。（寛政系譜ニハ、家廣、慶長六年二月卒トアリ、某年致仕セシモノカ）
氏	〃 忠頼	二五、〇〇〇	慶長六年二月	（2代）	忠頼、関原役後、犬山城ノ城番ヲ勤メ、又美濃金山ニ在番シ、一万五千石ヲ受ク。濱松城ヘ、爾後廃城タリ（寛政系譜）

陸軍

国立国会図書館 ［日本城郭史資料］第7冊 本別20-4



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4



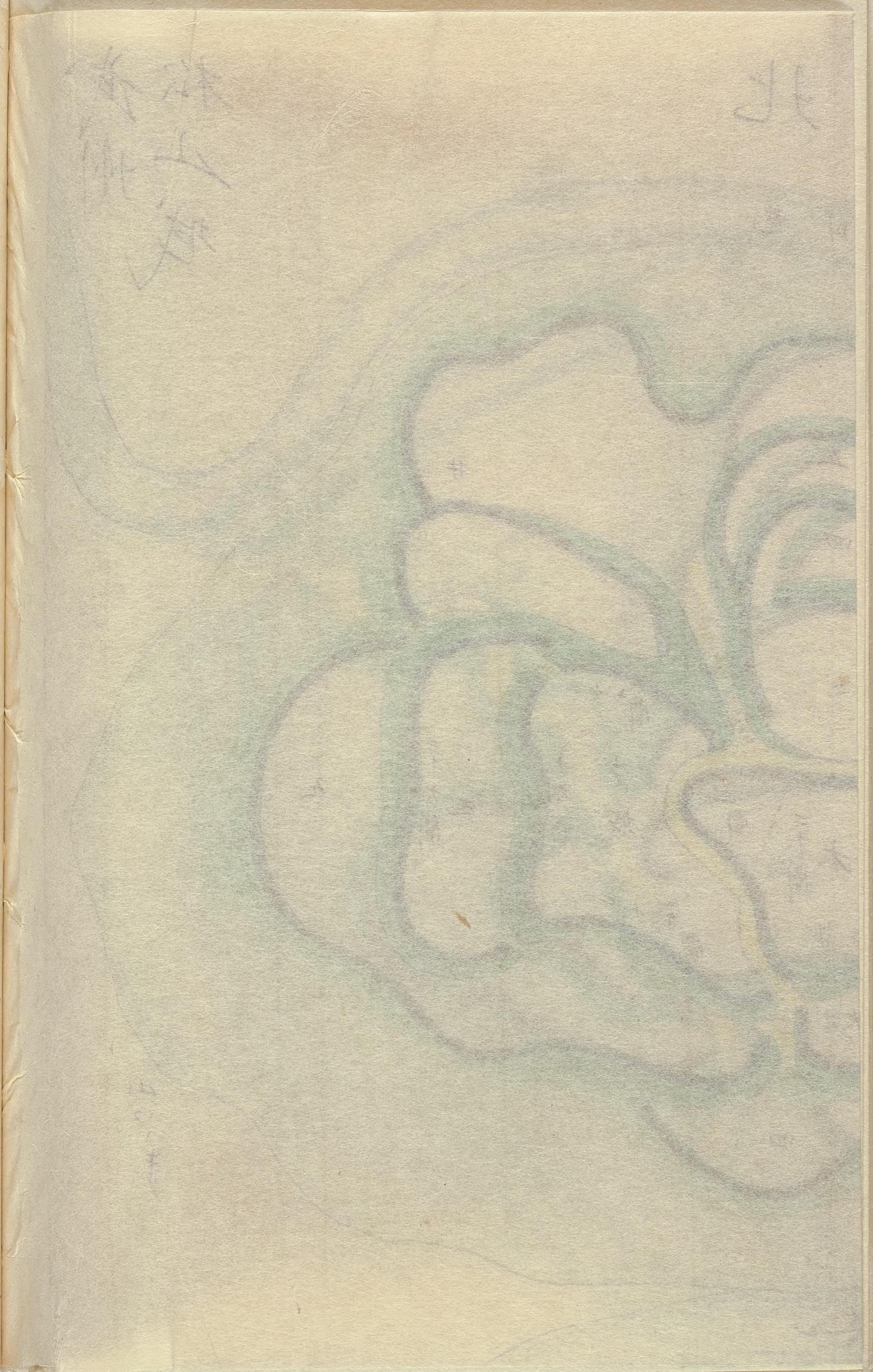
国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第7冊　本別20-4

滝山城

一、位置　武藏國秩父郡丹木の北にして八王子驛西北方四吉。

二、築城　永禄中大石源三氏照（北條陸奥守）之に居り小田原家一方の鎮城たり、天正六年の比に八王子城へ移り本城廢す。

三、変遷　大石氏は木曽義仲の裔にして累代関東管領上杉氏に屬して久しき家なり、源左衛門尉定久の時。天文十五年、川越夜軍の後、鉢形の藤田氏と共に北條氏康に屬せり、定久即氏康の二男を養子として妻あはすに其女を以てす、之れを大石源三氏明と云ひ後に陸奥守氏照と云へり、かくて北條氏照に譲りて、自身は入道して心月斎道俊と號し近郷高月に隠居



国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第7冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

高月城回

N

1/1000

H

G

北高約 2.5.0

面断 G-H
1/200

G

4.5.0

H

2.5.0

k--3.0--k

面断 E-F
1/200

E

6.0.0

F

-6.0

E

北高約 40.m

面断 A-B
1/200

A

6.5.0

3.0

k-2.0-k

高斜面

面断 C-D
1/200

C

4.5.0

3.0

D

7.0

+2.0

±0

+1.5.0

A

B

C

D

地

谷

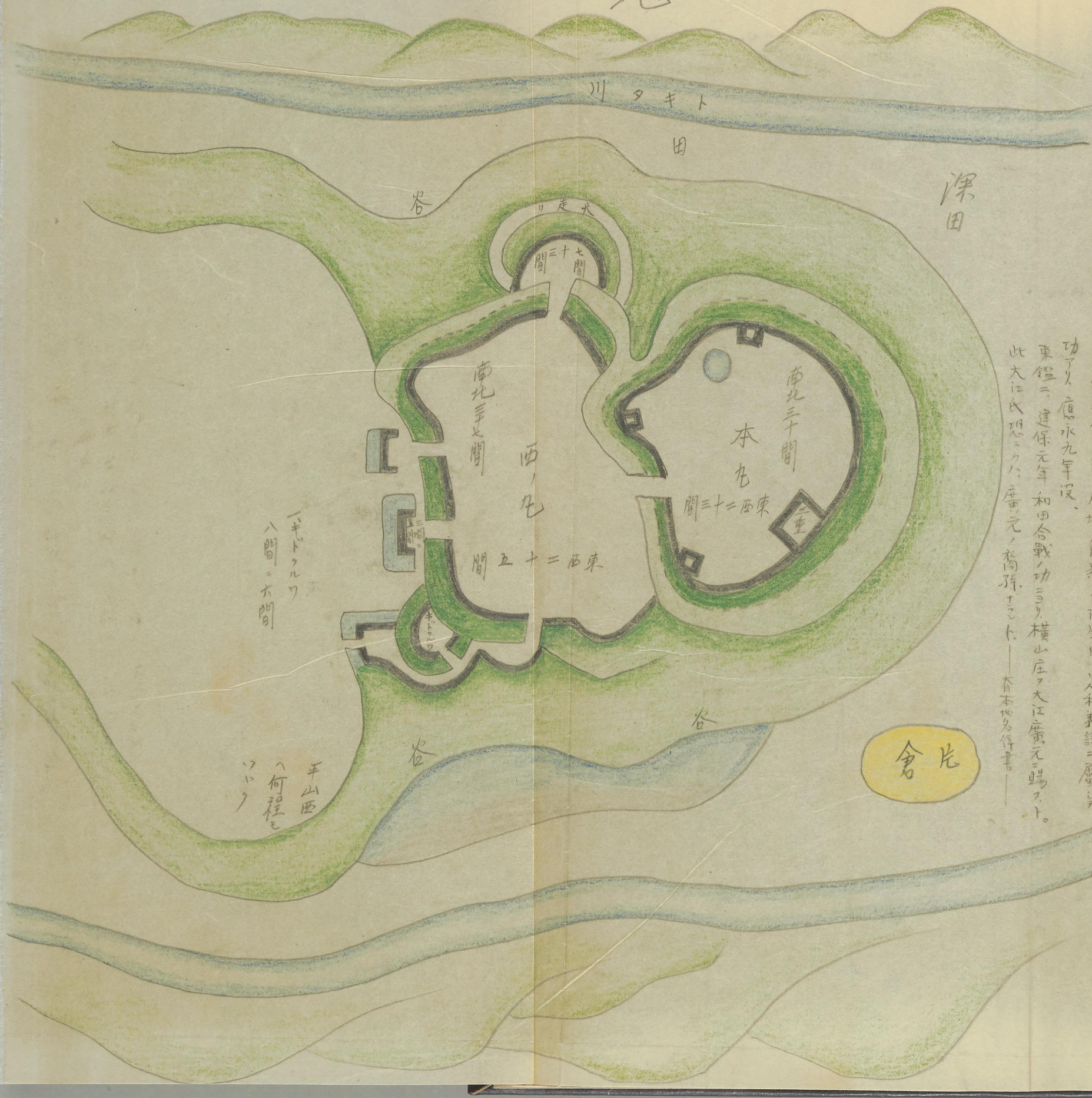
国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第7冊　本別20-4

武州忍舍城

大江師親(元春)ノ居城、師親百沿年中、足利義詮ニ属シ

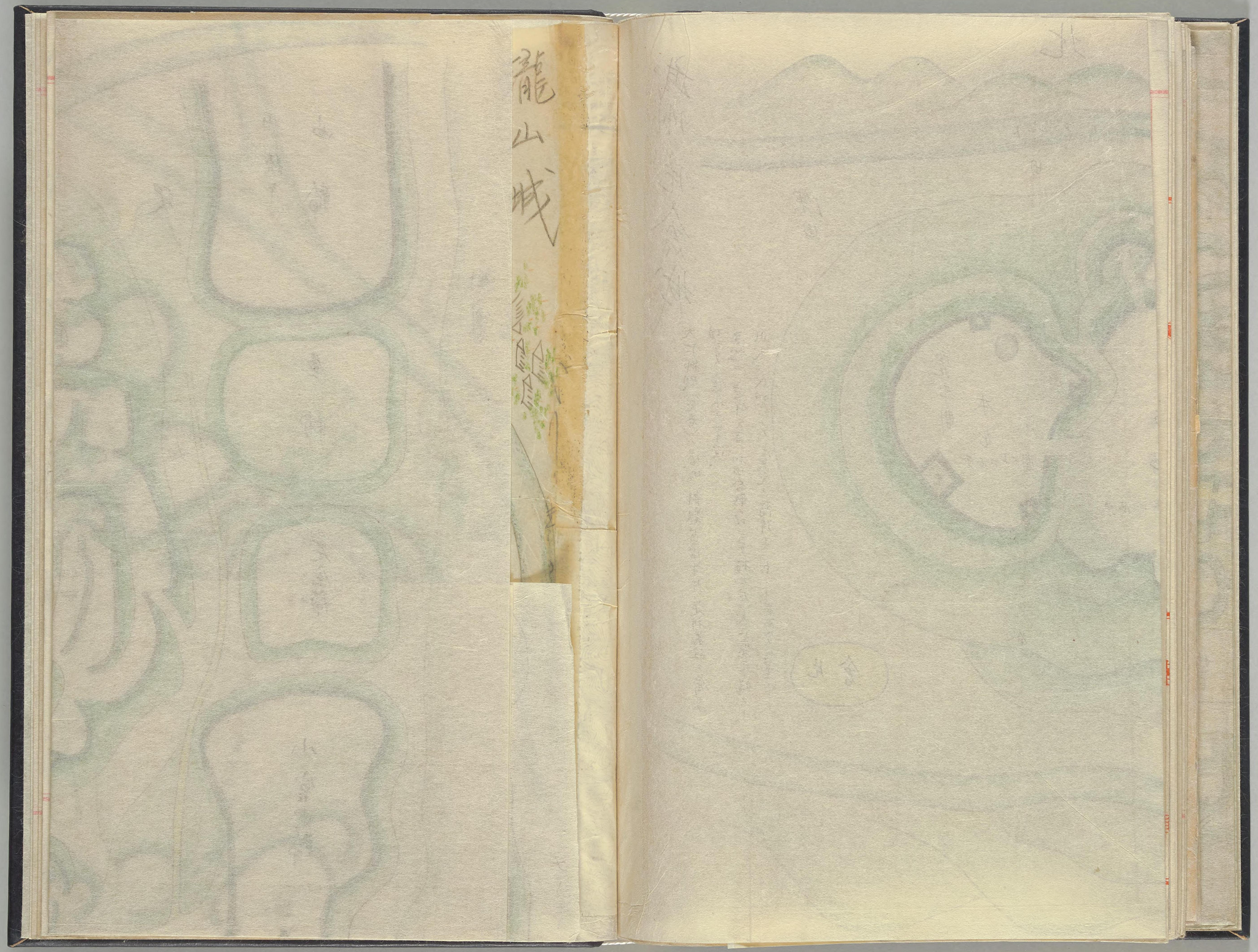
国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

武州岩倉城



大江師親(元春)ノ居城、師親貞治年中、足利義詮ニ属シテ功アリ、應永九年没、東鑑ニ、建保元年和田合戦ノ功ニヨリ横山庄ヲ大江廣元ニ賜ヌト。此大江氏恐ラクハ、廣元ノ裔孫ナラン。——新本地名辞書——

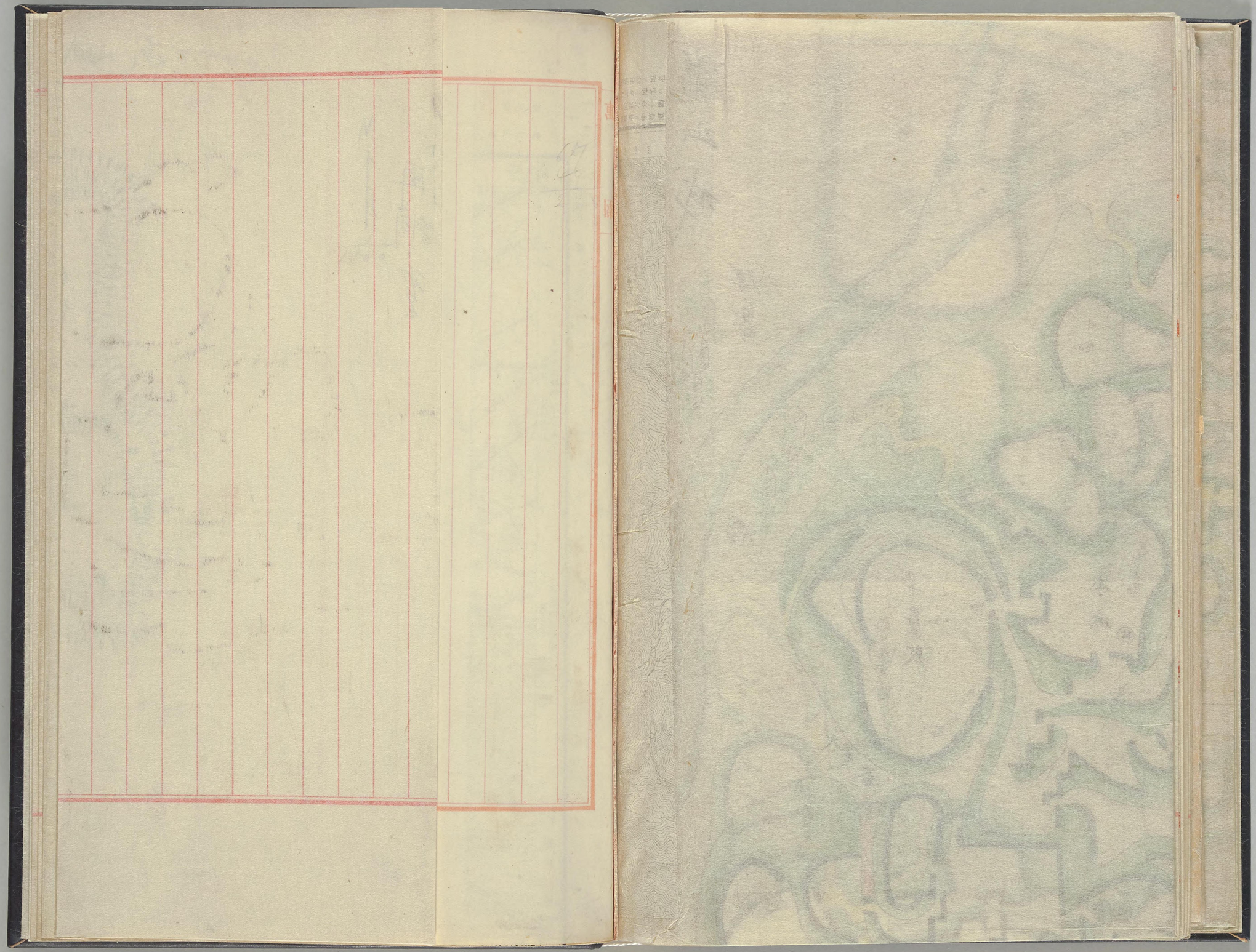
国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

瀧山城

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

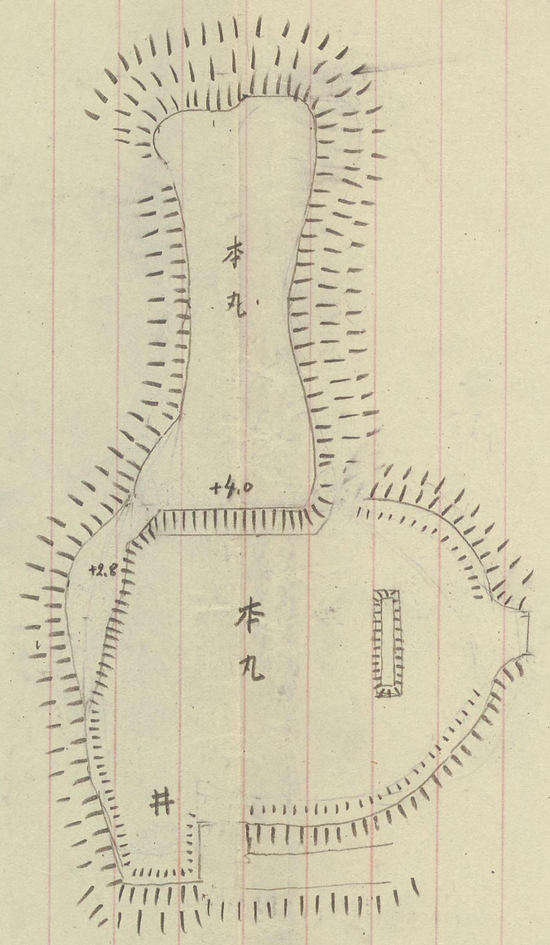


国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

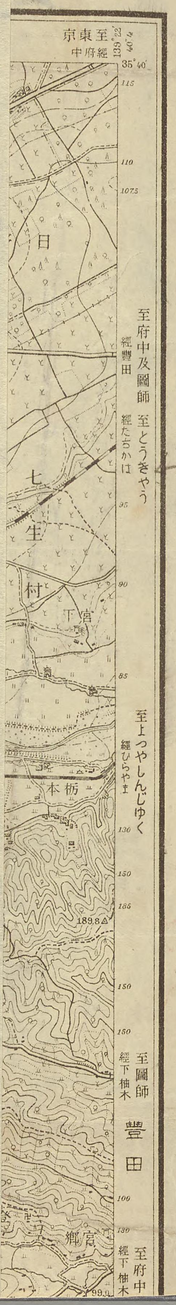
滝山城

N

1000



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4



二万五千分一地形圖八王子近傍九號共十圖面
東京十一號八王子ノ三

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

八王子

東京府　武藏國　八王子市
神奈川縣　相模國　南多摩郡　高座郡　津久井郡

二万五千分一地形圖八王子近傍九號共十四面
東京十一號八王子ノ三

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

東城

八王子

八王子 二万五千分一

本城八応永年中大江師親築城ト称ス

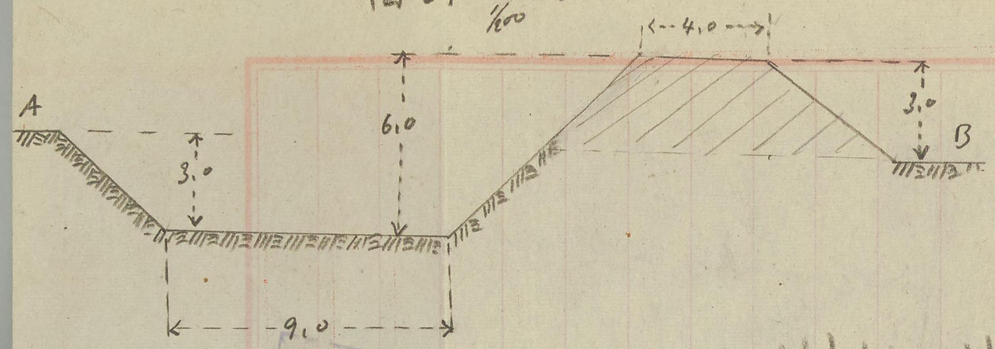
国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第7冊　本別20-4

城倉片

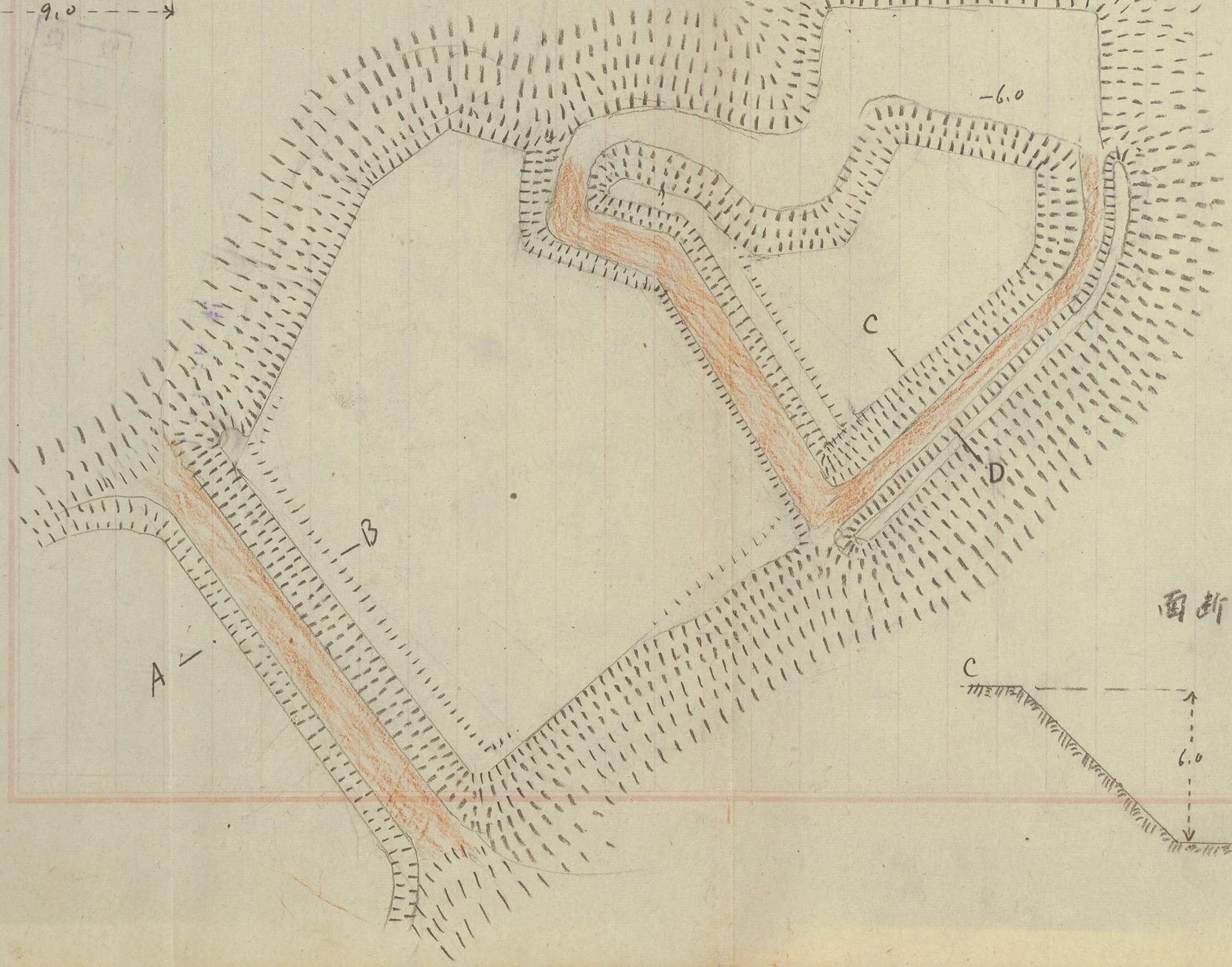
N

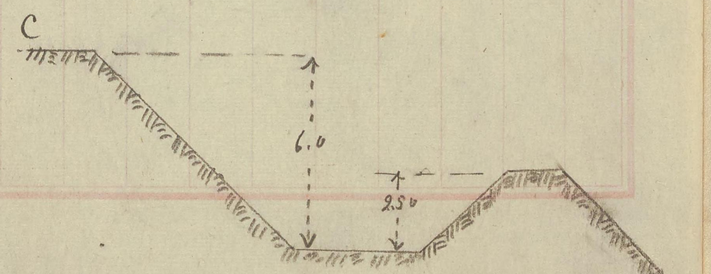
1/1000

本城ハ応永年中大江師親ノ築ク所ト称ス



断面 1/200 A-B





断面 C-D

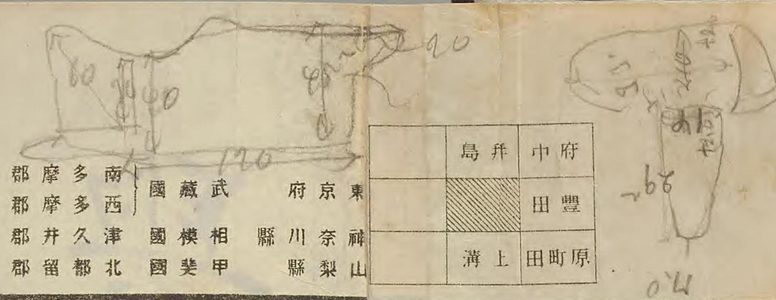
国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

與瀬

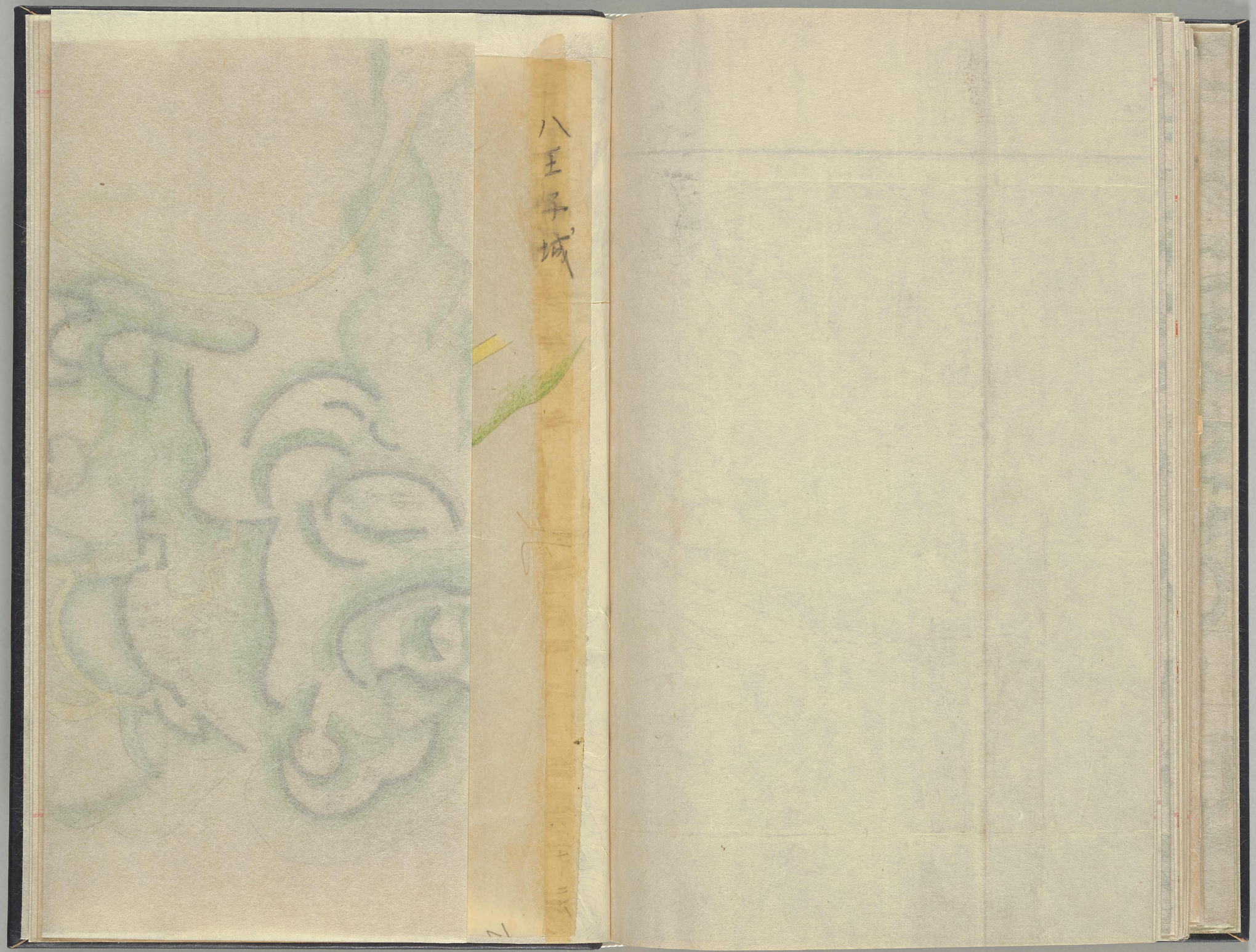
城史

二萬五千分ノ一

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4



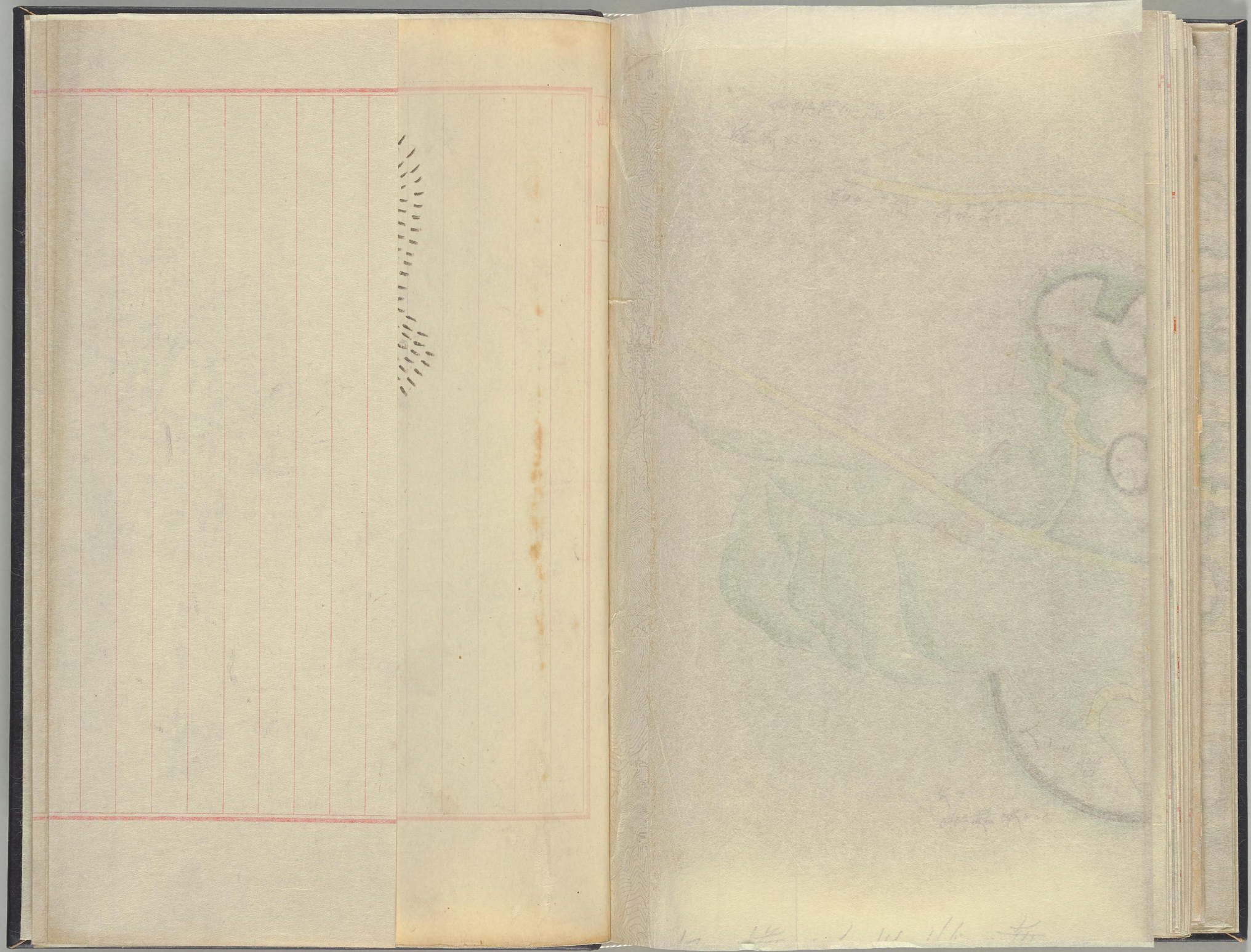
国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

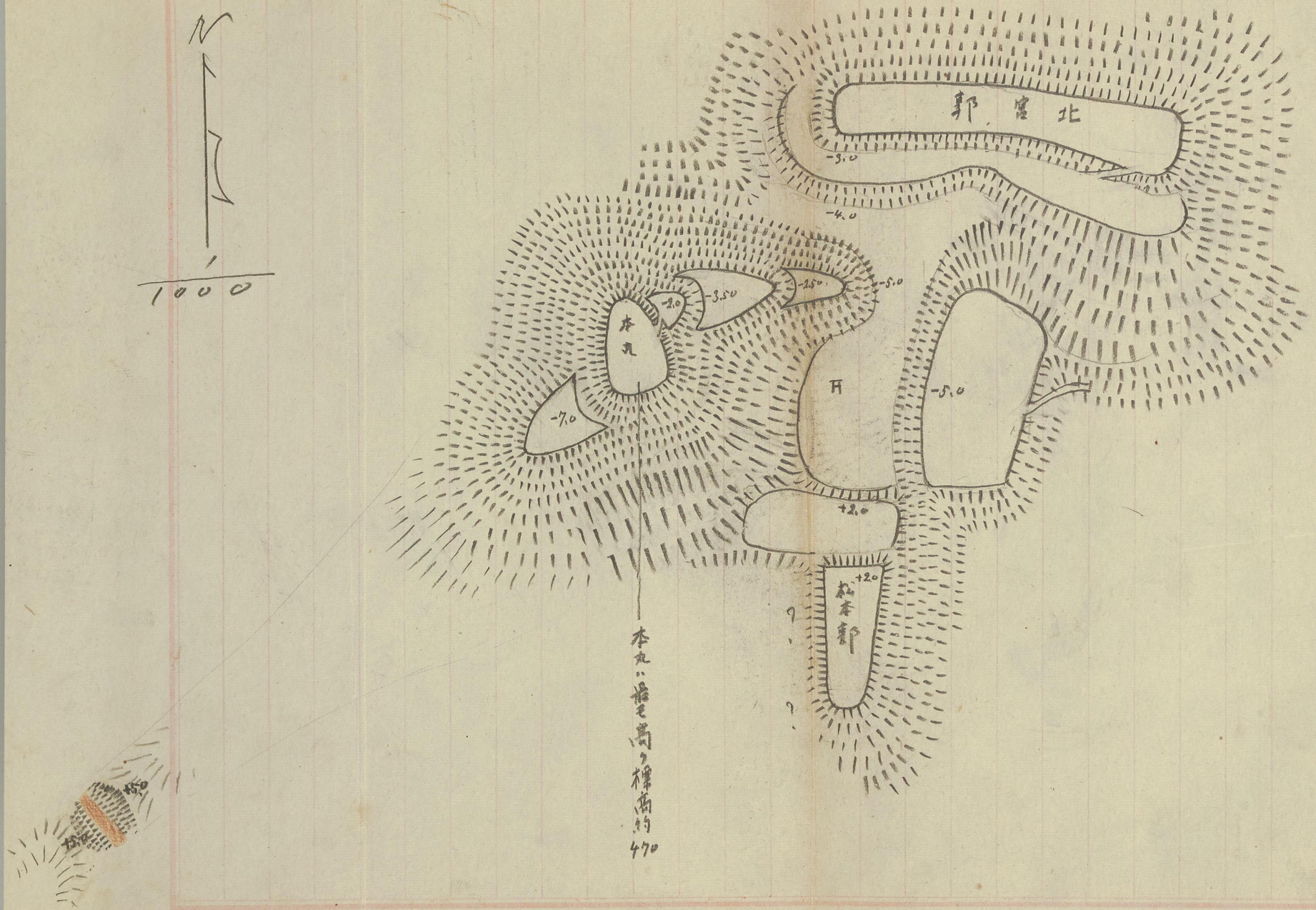
八王子城

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4



国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

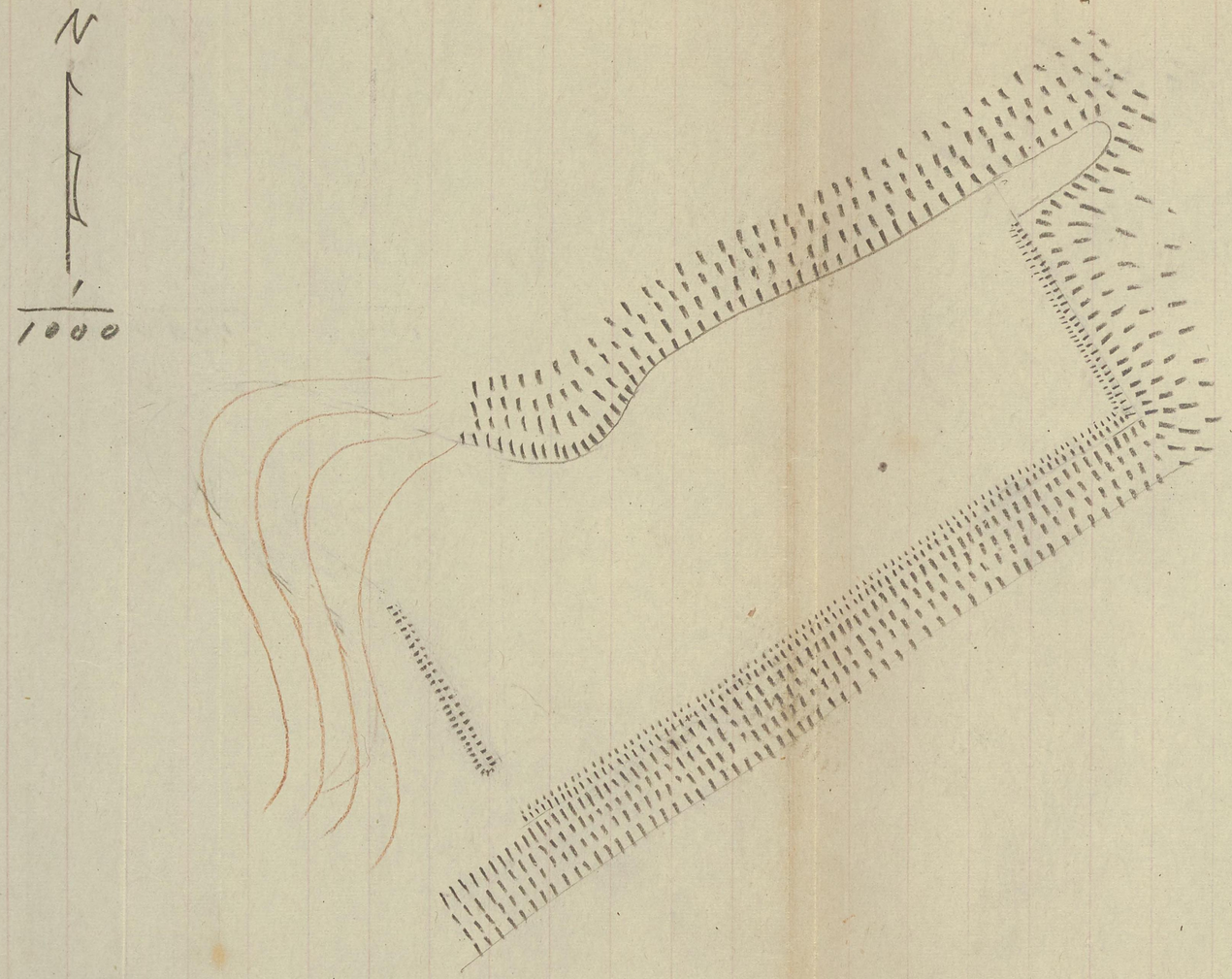
八王子城図



国立国会図書館　[日本城郭史資料] 第7冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

回龍居、照氏條北

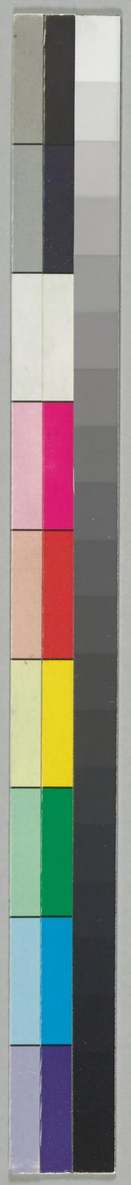


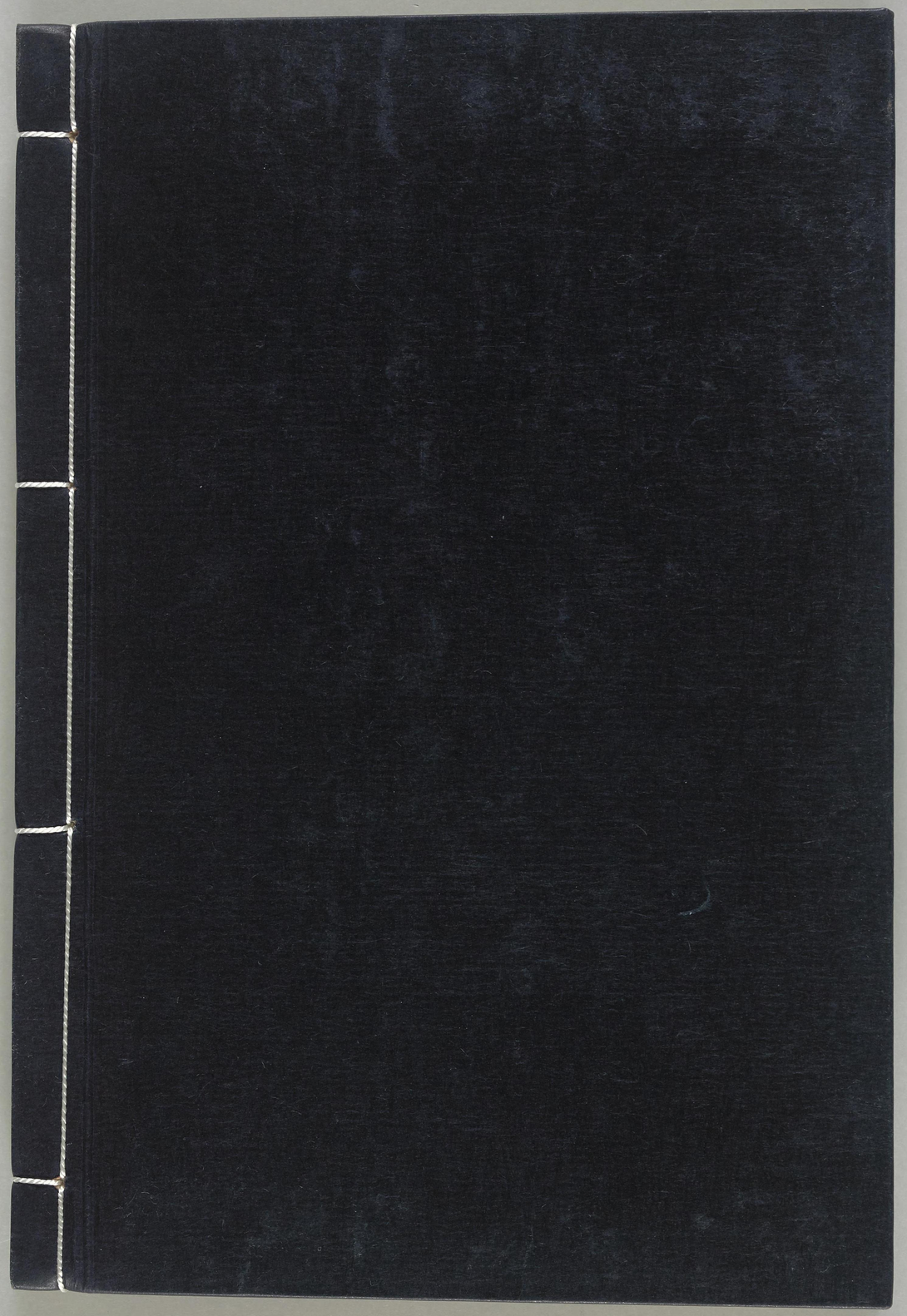
国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4

別20
4
7

国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4





国立国会図書館　［日本城郭史資料］第7冊　本別20-4